

事業推進の心 仮設労働安全新生プラン

陽のあたる安全文化の創造

もようやう ヒューマンエラーの他人事 前こう 安全足場を身証しあわせ めざやう 安心して暮らせる 心豊かな国創り

ACCESS新聞

Alliance Cooperation of Construction Equipment & Scaffolding for Safety

Vol. 44

編集・発行人 松本邦宏
発行所 建設安全事業協同組合本部
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町
15-18 日本橋Sビル
TEL 03-3639-0641
FAX 03-3639-0640
ホームページ http://www.kasetsumen.or.jp/ Eメール info@kasetsumen.or.jp

北海道支部 〒060-0807 札幌市東区南一条1-1-14
東北支部 〒984-0816 仙台市青葉区南馬場1-3-24(大和ビル1F)
関東支部 〒110-0001 東京都千代田区千代田1-15-15(日本橋Sビル5F)
中部支部 〒460-0008 名古屋市東区東桜2-11-16(古木ビル1F)
近畿支部 〒531-0075 大阪市北区大淀南1-9-19(エンパイアビル8F)
中国支部 〒730-0017 広島市中区本町5-21(ビルガク生体ビル5F)
四国支部 〒760-0055 高松市東通2-2-15(ダイヤビル7F)
九州支部 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前4-10-18(後村ビル4F)
電話(011)899-3275 FAX(011)899-3276
電話(022)716-0701 FAX(022)716-0710
電話(03)3639-1571 FAX(03)3639-3890
電話(052)249-1031 FAX(052)249-1810
電話(052)249-7661 FAX(052)249-8280
電話(06)2442-7063 FAX(06)2442-7064
電話(082)341-3851 FAX(082)327-2750
電話(087)812-0131 FAX(087)812-0130
電話(092)472-7000 FAX(092)472-7100

「働きやすい安心感のある足場」を的確に実施

国土交通省は、2004年度「働きやすい安心感のある足場」を的確に実施する建設工事事故防止のための重点対策として、足場設置の徹底、各地方整備局と関係業者との連携を推進する。併せて、併用等の確保を促進し、都道府県、政令市、国を的確に実施する。併せて、関係団体・事業者との連携を促進する。併せて、関係団体・事業者との連携を促進する。併せて、関係団体・事業者との連携を促進する。

足場の全段 手すり先行型2段手すり・幅木を追加

九州地方整備局長 岡山 和生氏
大きな課題として発生する施工者が、丸ごと撲滅に取り組みたい。九州地方整備局は、2001年度から導入された手すり先行型足場の導入を積極的に進めた結果、03年度は全体の1割未満で発生し、転落災害の発生を減少させることに成功しています。工事の安全確保は、人命を守ることに最も重要なことと認識しています。公共事業と建設業の信頼性を回復するために重要なことと認識しています。岡山和生九州地方整備局長を囲み、当組合の小野辰雄理事長と篠崎隆九郎支部長とが話している様子です。

墜落・転落災害撲滅に挑む

国交省地方整備局で談話シリーズ④ 間伐材や竹を仮設で有効利用

小野 辰雄氏
一般に、現場で使われるネット・シートは、その飛来防止を目的としたもので、人の墜落・転落災害防止には有効とはなりません。それは過去の災害事例からも明らかです。本年、この点を改めて追加しました。また、手すり先行型足場を使う場合に、ネット・シートを有効に活用し、間伐材や竹を仮設で有効利用することを推奨しています。これは、現場の安全確保に大きく貢献すると思います。また、手すり先行型足場を使う場合に、ネット・シートを有効に活用し、間伐材や竹を仮設で有効利用することを推奨しています。これは、現場の安全確保に大きく貢献すると思います。

東京都下水道局は2004年度工事から、使用する仮設足場を全面的に「手すり先行型」とすることを決めた

東京都下水道局は、2004年度工事から、使用する仮設足場を全面的に「手すり先行型」とすることを決めた。これは、現場の安全確保に大きく貢献する。また、手すり先行型足場を使う場合に、ネット・シートを有効に活用し、間伐材や竹を仮設で有効利用することを推奨しています。これは、現場の安全確保に大きく貢献する。

インタビュー 中村益美建設部長(東京都下水道局)に聞く

東京都下水道局では、2004年度工事から、使用する仮設足場を全面的に「手すり先行型」とすることを決めた。これは、現場の安全確保に大きく貢献する。また、手すり先行型足場を使う場合に、ネット・シートを有効に活用し、間伐材や竹を仮設で有効利用することを推奨しています。これは、現場の安全確保に大きく貢献する。

足場組立後 点検表を備え、提出は評点対象

小野 辰雄氏
足場組立後は、点検表を備え、提出は評点対象とする。これは、現場の安全確保に大きく貢献する。また、手すり先行型足場を使う場合に、ネット・シートを有効に活用し、間伐材や竹を仮設で有効利用することを推奨しています。これは、現場の安全確保に大きく貢献する。

「建築用垂直ネット」のJIS規格が発効

当組合が日本規格協会の委託を受けて作成した、「建築用垂直ネット」のJIS規格が正式に認められました。これにより、建築用垂直ネットのJIS規格(A8960)が決まりました。垂直ネットは、鉄骨工事で飛来・落下の公衆災害防止と作業員の防護を目的とし、最近では、多くの高層ビルやマンションで使われています。しかし、関係法令もなく、製造者の自主基準だけで、品質、性能が統一されていませんでした。これによって、垂直ネットの品質、安全性能が標準化され、使用者側に示されることになりました。このため、用途、目的に合わせた基準が明確になり、製品の安全性確保につながります。

先行手すり/2段手すり/つま先板 自治体で初、3点セットを義務化

東京都下水道局は、2004年度工事から、先行手すり/2段手すり/つま先板の3点セットを義務化する。これは、現場の安全確保に大きく貢献する。また、手すり先行型足場を使う場合に、ネット・シートを有効に活用し、間伐材や竹を仮設で有効利用することを推奨しています。これは、現場の安全確保に大きく貢献する。

東京都下水道局は、2004年度工事から、先行手すり/2段手すり/つま先板の3点セットを義務化する。これは、現場の安全確保に大きく貢献する。また、手すり先行型足場を使う場合に、ネット・シートを有効に活用し、間伐材や竹を仮設で有効利用することを推奨しています。これは、現場の安全確保に大きく貢献する。